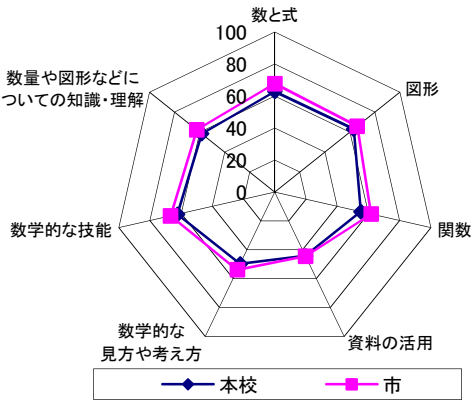


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	62.8	67.7
	図形	63.0	65.9
	関数	55.2	61.7
	資料の活用	44.3	44.4
観点別	数学的な見方や考え方	49.8	53.9
	数学的な技能	62.4	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	58.4	62.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	本校の正答率は市平均を下回っている。連立方程式の解や加減法や代入法の原理を理解し、それを使って解くことができない生徒が見られる。式の値を求めることについても、2つの文字のところに数を代入して計算する問題も市平均に比べ下回っていることが見られる。	方程式を解くことや式の値をもとめる問題では反復練習を繰り返し、定着をはかる。どんな問題も解けるために宿題を提示したり、小テストを実施し確認したりしたい。
図形	三角形の高さを表す線分の作図や立体の見取図を十分理解している割合が市平均を上まわっているところも見られるが、本校の正答率は市平均を下回っているところが見られる。対称移動したときの対称の軸や多角形の内角や外角について理解し、角の大きさを求める問題や球の体積やおうぎ形の面	現在学習している内容については定着しているが、1年生での既習内容の復習を促し、定着する工夫をしていきたい。
関数	本校の正答率は市平均を下回っている。特に関数の領域は苦手と感じる生徒が多く、表、グラフ、式との関連が把握しにくいと考える。また文章題を読み取る力が弱く、考えるまでに及ばない傾向があり、関数の関係で比例、反比例の判断の説明ができない生徒が多い。	関数の意味、比例や反比例を理解できない生徒が多く、表やグラフに表せない。1次関数のグラフや関係の特徴をしっかりと覚えて、基礎基本が定着できるプリントを工夫し実施していきたい。
資料の活用	本校の正答率は市平均を下回っている。資料におけるいろいろな代表値を忘れてしまっている生徒が多い。平均値や中央値など1年生の学習したところを忘れてしまっている生徒が多かったと考えられる。	1年生での既習範囲の復習を促し、プリント等を活用し、実施していきたい。